

# 学生担当者報 11

-Vol. 345-

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/吉川万寿彦 編集責任者/松村孝吉  
[TEL]0743-63-1511 (内線5817) (直通) 0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780  
[E-Mail]tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教178年  
平成27年10月25日発行

## お知らせ

**十一月例会**  
11月25日の「学生担当者大会」での諸連絡に変えさせていただきます。  
尚、辞令交付はございません。

### 学生層育成者講習会

#### 日程・会場案内

【教区】	11月1日 13時	教務支庁
・長野		
【直属】		
・川之江	11月10日 12時	大教会
・筑紫	11月22日 11時50分	大教会
・甲府	11月22日 12時	大教会
・城山	11月22日 11時20分	大教会
・池田	11月23日 12時10分	大教会
・淀	11月23日 12時	分教会
・宇仁	11月24日 12時10分	大教会

## 報告

**九月例会**  
去る9月25日、本部第38母屋1階食堂に於いて「九月例会」を開催。出席は45教区、111直属。

### 各地の動き

【教区学生層育成者講習会】  
・佐賀 9月2日 教務支庁 42名  
松田委員出向

### 【直属学生層育成者講習会】

・錦江	9月6日	大教会	150名
・本愛	9月13日	大教会	150名
・秋津	9月15日	大教会	120名
・日光	9月18日	大教会	120名
・東	9月20日	大教会	100名
・秩父	9月20日	大教会	192名
・栗太	9月20日	分教会	145名
・東濃	9月22日	大教会	120名
・本保	9月22日	大教会	112名
・小牧	9月23日	大教会	120名
・府内	9月24日	大教会	150名
・宮岡元樹(東・人間野)			

### 業務記録

《立教178年9月16日～10月15日》

9月17日	事務局連絡会
19日	『Harvest』納品・発送
24日	学修高校卒業生コース会議 担当者活動部部会、出版部部会
25日	学修部部会、明日のHARP会議 委員会、教区担当者懇談会、例会
28日	広報室会議、HARP勉強会 HARP研修会チーム会議 学生連絡会
10月6日	屋内プログラムチーム会議
7日	学修高校卒業生コース会議 要員育成室会議、学生部部会 学修部部会
8日	委員会、学修大学の部研究室会議 まなびば研究室会議 担当者活動部部会
9日	委員会
12日	学生連絡会
13日	屋外プログラムチーム会議 学修部部会
14日	学修高校の部研究室会議 学修高校卒業生コース会議 教祖130年祭 学生おぢばがえり大会 プロジェクトチーム会議
15日	出版部部会、学修部部会 屋内プログラムチーム会議

## おたすけに繋がる動員



来る「教祖百三十年祭 学生おぢばがえり大会」

への参加者『一万人』達成の動員に向かう中で、学生層育成に携わる私達が忘れてはならない最も大切な点がある。それは、昭和五十三年、教祖九十年祭後の活動方針の一つとして打ち出された『若年層育成の推進』の思いを受け、「道の将来を担う学生層の育成」を目的に発足した学生担当委員会には、「次代を担うよう、よく育ててほしい」という三代真柱様の思いが掛かっているということである。

自らが成人する姿を通して、自分より経験の浅い者を、少しでも教祖のお目に適うようよく育てるのが、道の順序である」とお話しください、更にはそれ以降も「共に育つ」というキーワードでもって道の人材育成の精神を繰り返してお仕込みくださってきた。つまり、まさに「若年層育成はに、いがけ・おたすけである」ということである。だからこそ今回の一万人動員への働きも、全ては「に、いがけ・おたすけ」の心を持って取り組ませていただきたい。

### 人材育成部 委員

柏原 信弘

せいただける！ 助かる！」だからこそ動員に励むのである。広く啓蒙活動に励むこと、声がけに励む学生会をサポートすること、また会長さん方へ随時協力を促すことなど、とにかくそれぞれの立場、役割の上から、自分にできる何かしらの形で、「我が事」としてこの一万人の動員に携わる姿勢が求められている。それが「大人」である私達お互いの学生に対する『当然の務め』であると思う。

教祖130年祭 学生おぢばがえり大会  
全教会からの参加を目指して

立教179年 3月28日 午前10時 大会動員目標 **1万人**

## 立教178年 教区担当者懇談会 開催報告

去る九月二十五日、第三十八母屋に於いて、四十二教区から六十五名の参加者が集まり、教区担当者懇談会を開催した。

開会にあたり、吉川委員長は「十年前の学生おちばがえり大会は九千二百五十名の参加者だった。その時に学担を務めていた先生方が『惜しかったんや』と振り返り返る様子は、どことなく満足げ。私たちも十年後に満足げに話をしたい。そのためには今、それだけの努力と苦労と、悩み抜いていくことが必要」と述べるとともに、「今年の教区団体の参加者数は昨年より増えている。この勢いをもって来年の『教祖百三十年祭 学生おちばがえり大会』に臨みたい」と挨拶した。

引き続き、二名の教区委員長の活動発表が行われた。まず、大分教区学生担当委員会矢野大志委員長は、「今年の春学の帰りのフェリーで、『来年は一人が一人の参加者をお連れして、たくさんの人

数でおちばへ帰りたいたい』と提案したら、

そのことを真摯に受け取ってくれた学生が、学校でクラスの友達、クラブ活動の友達に声をかけてくれていた。けれども、なかなか良い返事がもらえないので、『来年高校生になる私の弟をなんとか誘おう』と思っています。その交通費を作るために、実は私、コンビニでアルバイトを始めました』と言うのを聞いて泣けてきました」と、簡単にはおちばがえりができない状況を打ち明けた上で、「いくらお誘いしても断られ続けると、『動員目標なんて達成できるだろうか?』と思う時もあるが、を、や、の声を頼りに、常時の会活動、教会回り、会員回りを続けていくところに、学生会、担当委員会の力がついてくる」と訴えた。

続いて、滋賀教区学生担当委員会尾崎道彦委員長は、「今月十三日の道の学生ひのきしんDAYの後、夕方には『自分

の中で一番充実した活動だった。めっちゃ喜んでます』と言っていた教区学生会委員長が、夜中に『委員長を辞めたい』と電話をかけてきた。ある学生からの『学

生会ってこんなにも楽しくない、しんどいものなのかなあ』というメールですっかり落胆してしまったという話をじっくり聞いて相談に乗った結果、学生会委員長がその学生に『私は学生会活動は楽しいと思う。でもイコール自由ではない。自分の楽しみを第一にしたなら、普通のサークル以下。もつと素晴らしい学生会にしたいから、力を貸してください』とメールを送ってくれた』という経験を披露した上で、「学生と真摯に関わることは、労力も時間も必要だが、しかし感動をもたえる。何よりお道の将来に不可欠な御用である」と発表を締めくくった。

体験発表後は九つのグループに分かれて、「教祖百三十年祭 学生おちばがえり大会」動員の上でのねりあいを行い、更にその後、ブロックに分かれて具体的な団参計画についても相談の場を持った。

## 大学生の集い Work & Talk 開催報告

### Work & Talk 2015

#### 〜関東ブロック〜

十月三日から四日にかけて、群馬県立北毛青少年自然の家を会場に「関東ブロック Work & Talk 2015 in 群馬」が開催され、六十七名（内、スタッフ二十名）の学生が参加しました。

今回、「歩み続けよう過去からの継続・現在からの出発」というテーマのもと、四つのコースに分かれてプログラムが進められました。未信者の学生もおり、最初は緊張と戸惑いの面持ちでしたが、プログラムが進むにつれ、班にも馴染み緊張もほぐれたようでした。

各コースでは、自然と触れ合うプログラムや、お道について考え、班のメンバーと熱く語り合うプログラムなどが行われ、今回出会った仲間たちと、自分のことやお道について本音で語り合う学生の姿がありました。

プログラムの最後には、二日間のプログ

ラムの様子をまとめた、ふりかえり映像の上映や学生による感話が行われ、有意義な二日間となりました。

#### 〜四国ブロック〜

十月十日から十一日にかけて、香川教務支庁を会場に「四国ブロック Work & Talk 2015 in 香川」が開催されました。今回は「誠真実」をテーマに、三十四名の参加がありました。

初日は、班での話し合いを中心に進められ、夜には本島大教会長片山幹太先生の講話を頂きました。

二日目には、高松城跡の玉藻公園に行き、各班それぞれのベストショットを撮るといったものや、中野うどん学校へ行き、うどんを実際に手作り体験するといった、香川ならではの行事も行われるなど、学生たちは楽しみながら、互いの繋がりを深めていきました。

最後は、この一泊二日で得られたことをふりかえり、充実した二日となりました。

#### 〜北陸ブロック〜

十月十一日から十二日にかけて、富山教務支庁を会場に「北陸ブロック Work & Talk 2015 in 富山」が開催され、「心のたすかり」のテーマのもと六名の学生が参加しました。

参加者のほとんどが初参加の学生とあって、初めは緊張していた学生も同じブロックの仲間たちと出会い、ウォーミングアップ、グループタイムとプログラムを進めていくにつれて、互いに打ち解け合っていきました。「心のたすかり」というテーマの講義や、に、を、い、が、け、に、関、する、講、話、な、ど、が、あ、り、学、生、た、ち、は、担、当、者、の、先、生、方、の、話、を、真、剣、に、聞、い、て、い、ま、し、た。また、に、を、い、が、け、の、講、義、の、後、に、は、実、際、に、神、名、流、し、や、戸、別、訪、問、を、行、い、緊、張、し、つ、つ、も、勇、ん、で、つ、と、め、ま、し、た。

最後には、二日間をふりかえり、また来年開催される「Work & Talk」で再会することを誓い会場を後にしました。

# 立教178年道の学生ひのきしんDAY 参加人数集計

## ■教区

参加人数	参加人数	参加人数
おやさと (天理高校用木コース・ 河原町大教会を含む)	240	京都 42
	北海道 59	大阪 134
		兵庫 (西宮大教会を含む) 59
青森 4	奈良 (郡山・敷島・櫻井・城法・ 五條・秋津大教会を含む) 142	和歌山 (紀陽大教会を含む) 47
岩手 4		
宮城 17		
秋田 2	鳥取 8	島根 4
山形 4	岡山 34	
福島 21	広島 9	山口 (防府大教会を含む) 38
新潟 20	徳島 7	
石川 (鹿島大教会を含む) 12	香川 6	愛媛 11
富山 延期	高知 5	
福井 6	福岡 40	佐賀 12
茨城 10	長崎 13	
群馬 9	熊本 22	大分 14
埼玉 64	宮崎 3	
千葉 26	鹿児島 10	沖縄 13
東京 (浅草大教会を含む) 51	台湾 15	
神奈川 34	アメリカ 11	
山梨 4		
長野 27		
栃木 10		
静岡 19		
岐阜 10		
愛知 62		
三重 53		
滋賀 30		

## ■直属

参加人数	参加人数	参加人数
船場大教会 13	伊野大教会 8	
北大教会 1	肥長大教会 10	
中河大教会 22	府内大教会 4	
高安大教会 14	仙臺大教会 5	
越乃國大教会 9	東海大教会 10	
生野大教会 14	神崎大教会 2	
東愛大教会 10	本愛大教会 11	
神川大教会 3	宇佐大教会 10	
朝倉大教会 6	大原大教会 7	
大森町大教会 5		

(10月20日現在集計)

合計 1661

# 道の学生ひのきしんDAY 開催報告

## 2015.09.13 年祭へ、大会へ、感謝と喜びを繋いで

九月十三日、「年祭へ、大会へ、感謝と喜びを繋いで」をスローガンに「道の学生ひのきしんDAY」が開催され、一六六一名の学生が参加しました。(十月二十日現在集計)

### ○神奈川教区学生会

神奈川教区学生会では、横浜市内にある清水ヶ丘公園でのひのきしんに、三十四名の学生が参加しました。

最初は緊張していた学生も、自然に囲まれた中でのレクリエーションで身体を動かすことで、少しずつ笑顔が見られるようになりました。続いて班毎に昼食を食べ終えた後、ひのきしんの大切さについて考え、親神様からお借りしている身体を精一杯使わせていただくというねりあいました。その後、学生たちは公園内の落ち葉を箒を使って集めるなど、清掃ひのきしんに励みました。

また閉会式では、「教祖百三十年祭 学生

おぢばがえり大会」や「大学生の集い」&「Talk」の説明があり、学生たちは積極的に学生会活動に参加することの意義や、年祭に、そして大会に一人でも多くの仲間とおぢばへ帰り集うことの大切さを確認し合い、幕を閉じました。

### ○高安学生会

高安学生会では、十五名の学生がひのきしんDAYに参加しました。高安大教会に集まり、午前中は、簡単なウォーミングアップを行い緊張をほぐした後、大教会の記念建物という、大変貴重な場所で、除草ひのきしんを行いました。

午後からは、青年会の「全分会布教推進週間」に合わせ、学生全員で勇んで神名流しを行いました。その後、中河学生会との交流会を行い、他の直属の学生とも親睦が深まった一日となりました。

## 青空

今年、学生生徒修養会高校の部を受講してくれたその子は、中学時代は不登校気味で、様々な悩みを抱えていた。何とかこの学修をきっかけに心の向きが変わればと、必死に誘い、見事受講してくれることとなった。学修後、その子から手紙をもらった。そこには、小さくて薄くても弱々しい文字ながら、学修で素晴らしい仲間に出会え、多くのことを学べたことや、感謝の言葉がびっしりと書かれていた。嬉しさもありがたさに只々感激した。

学生会行事では、わずかな期間でありながら、鮮やかなご守護をお見せいただくことがよくある。これは、我々の普段のいがいがい・おたすけの勇みの種となるように、また、学生には理解しにくいご守護の姿を分かりやすく伝えるために、親神様が大きな親心でお見せくださっているのではないかと感じる。

来年は教祖百三十年祭。ここで力を入れないわけにいかない。委員長は終えたが、一人でも多くの学生にご守護の素晴らしさを感じてもらえるよう、これまで以上に声掛けに励みたい。

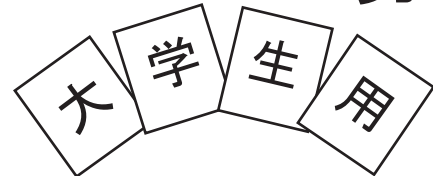
立野堀大教会前学担当委員長 森田道明



おせち

立教179年 学生ひのきしん隊

募集要項



対象 大学生、大学院生、短大生、専門学校生で全期間参加できる者
期間 立教179年1月4日(月)~7日(木)
受付 1月4日12時30分(時間厳守)
本部第12母屋
※学生証提示のこと
※昼食を済ませて集合してください
解散 1月7日16時(予定)本部北2駐車場
宿泊 本部第38母屋または第12母屋
募集人員 300名
参加費 2,000円(教区・直属学生担当委員会に納めてください)
内容 ひのきしん(給仕・会場誘導・その他)、学生ひのきしん隊の運営、他
申込方法 教区・直属学生担当委員会まで、参加費・返信用封筒(12月21日以降に受け取れる住所、氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付のこと)を添えて申し込んでください。
12月26日以降にキャンセルされた場合、参加費は戻りませんのでご了承ください。
※保護者の承諾書、健康調査カード(後日郵送)に必要事項を記入の上、必ず受付時にご提出ください。
申込締切 12月15日本部学生担当委員会事務局必着
※申込書に【世話班・大学生班】のいずれかを希望してご記入ください。世話班、大学生班班長を担当する方には、下記の直前研修会に参加していただくことになります。

《直前研修会のご案内》
日時:1月4日9時(集合・受付)時間厳守
場所:本部第12母屋
研修内容:ひのきしん内容、世話班・大学生班班長の役割について



対象 高校生で全期間参加できる者
期間 立教179年1月4日(月)~7日(木)
受付 1月4日14時30分(時間厳守)
本部第38母屋または第12母屋
※生徒証提示のこと
解散 1月7日16時(予定)本部北2駐車場
宿泊 本部第38母屋または第12母屋
募集人員 300名
参加費 2,000円(教区・直属学生担当委員会に納めてください)
内容 ひのきしん(給仕・会場誘導・その他)、別席、親睦行事、他
申込方法 教区・直属学生担当委員会まで、参加費・返信用封筒(住所、保護者氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付のこと)を添えて申し込んでください。
12月26日以降にキャンセルされた場合、参加費は戻りませんのでご了承ください。
※病院受診についての同意書、健康調査カード(後日郵送)に必要事項を記入の上、必ず受付時にご提出ください。
申込締切 12月15日 本部学生担当委員会事務局必着

◆参加するにあたっての注意事項◆

- ◎期間中に別席を運ぶ方は席札を持参してください。尚、初めて別席を運ぶ方は願書などが必要となりますので教会と相談の上、必ず『別席の誓いの言葉』を覚えてくるようにしてください。
◎団体行動ですので、飲食物及び、ポータブルオーディオ、ゲーム等は持ち込まないでください(差し入れもできません)。
◎ひのきしん中の携帯電話・スマートフォンの使用はご遠慮ください。

立教百七十八年 秋期直属学生リーダー講習会 開催報告

九月十九日から二十日にかけて、本部第十二母屋を宿舎に、「立教百七十八年秋期直属学生リーダー講習会」が開催されました。この講習会は、「道の学生が直属学生活動の意義を認識し、道の学生としての意識の向上を図る」という趣旨のもと、天理教学生会直属部が主催したもので、参加者五十六名、スタッフ三十八名、計九十四名が集まりました。

初日は、まず全体でウォーミングアップを行い参加者の緊張をほぐした後、自身の信仰についてや、直属学生活動の意義を考え、一人ひとりが教会に繋がることの大切さについて話し合いを重ねました。夜には、各直属で今後の活動に活かすことを目的と

したゲーム講習会を行い、会場は大いに盛り上がりました。

二日目には、学生担当委員会木村信也委員の講話の後、年祭に向けての理づくりの一環としてにをいかけの時間が持たれました。まず、十二母屋から四つのルートで神名流しを行い、その後、天理駅前で路傍講演、よろづよ八首でをどりをつとめました。天気にも恵まれ、陽気に勇んでつとめることができました。午後からは、「教祖百三十年祭 学生おちばがえり大会」の一万人の動員目標達成に向けて、積極的な動員活動を進める意識を高めました。

学生たちはこの講習会を通して、教祖百三十年祭、またその先の「教祖百三十年祭 学生おちばがえり大会」に向けて、自分たちができるにをいかけ、おたすけを実践していくことを誓いました。

Happist 12月号 予告

【特集】

手書きの魅力♪

インタビュー 書家 石原 美歩

※内容は一部変更になる場合があります。

連載

・教理コーナー

希望の灯~おやさまのひながたに学ぶ~ 平野 知三 (本部准員)

・輝く生き方見つけよう

Key Person 天理大学アメリカンフットボール部コーチ 中村 珍晴

・信仰エッセー

明日の地図ひろげて 岩佐 円秋 (南阿大教会長)

・人生を彩る1冊をあなたに。

虹色のしおり 上田 和子 (浪華分教会教人)



個人宅に直接Happistが届く個人購読も行ってあります。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

# 立教178年HARP研修会 開催案内

この度、下記の通り「HARP研修会」を開催いたします。

各種育成行事の充実のために、学生層育成に関わる方はぜひ一度、ご受講ください。また、学生層育成を担う人材づくりの上から、婦人会、青年会、少年会に携わる皆様にも幅広くお声がけください。

◎日時 立教178年11月26日(木)～28日(土)

集合：26日 13時30分 第12母屋

解散：28日 11時45分 第12母屋

◎会場 第12母屋

第8・9母屋

◎定員 150名

◎受講費 4,000円

◎携行品 ・ハッピ、保険証、その他合宿で必要なもの

・女性の方はズボン着用でご集合ください。

・〈HARPトレーナーコース〉受講の方で、

『HARP～確かな理解とその使い方～』をお持ちの方はご持参ください。

【当日、会場でも販売します(500円)】

◎コース内容

## ◆育成行事支援コース

ねらい：プログラムの体験を通して各種育成行事の企画、立案への意識を高める

内容：エクササイズ体験、講義、プログラム構成の解説、ウォーミングアップの体験及び実践

対象者：育成に携わる方

## ◆HARP体験コース

ねらい：HARPの有効性を体験する

内容：エクササイズ体験、講義

対象者：HARP研修会の受講経験のない方

## ◆HARPトレーナーコース

ねらい：エクササイズのねらいや進め方を学ぶトレーナーとしてメンバーとの関わり方を学ぶトレーナーとしての資質を高める

内容：エクササイズ体験、トレーナー体験、ポイント解説、講義

※体験したことのあるエクササイズのトレーナーをしてもらいます

対象者：HARP研修会または、各教区・直属HARP講習会を受講した方

◎注意事項(予め受講者への周知徹底をお願いいたします)

- ・研修会の性質上、遅刻・早退を含め変則的な受講はお断りします。
- ・研修に影響をきたしますので、期間中の飲酒は慎んでください。

◎申し込み

・申込用紙に受講費を添え、学生担当委員会事務局までお申し込みください。

・11月17日(火)締め切り(定員になり次第締め切ります)。

・キャンセルの場合、必ずご連絡ください。11月25日以降のキャンセルについては受講費の返却はできませんのでご了承ください。

◎お問い合わせ

天理教学生担当委員会事務局

Tel 0743-63-1511(内線5817) 0743-63-2489(直通)

## 参加者の声

◎学生層の育成を担当する年齢からは離れてきたと、自分自身では思っていたのですが、今後は直接関わっていく年代の人たちの良きアドバイザーになりたいと、新しい役割に気づかせてもらいました。(HARP体験コース)

◎今回学んだことを、女子青年の活動でも活用したいと思いました。お道をもっと好きになってくれる人が増えるように、がんばりたいです。(HARP体験コース)

◎研修会に参加している皆さんの、学生に対する「気持ち」に感じ入りました。だから、思いやり・寛大な心・アドバイス・人を見る視点など、私にとってお手本になる姿がたくさんありました。(HARPトレーナーコース)

### 立教178年 冬期直属学生リーダー講習会開催要項

- 【趣 旨】 道の学生がおちばに帰り集い、直属学生活動の意義を認識し、今後の活動を充実させていく上での糧となるようつながりを持ち、道の学生のリーダーとしての意識向上を図る。また、年祭、大会へ共に成人して向かっていくことを決意する。
- 【日 程】 12月19日（土）9時30分集合、12月20日（日）16時解散予定
- 【対 象】 各直属教会・教区学生会のリーダー層（高校・大学生層）  
※学生会が結成されていない直属教会からも是非ご参加ください。  
※各直属教会・教区学生会3名まで
- 【参加費】 1人 1,000円（当日にお持ちください）
- 【宿 舎】 本部第12母屋
- 【内 容】 講話、第53期天理教学生会委員長の所信表明演説、  
練り合い「直属学生活動の意義」「教祖130年祭について」「教祖130年祭学生おちばがえり大会について」
- 【締 切】 12月7日（月）締切
- 【問い合わせ】 天理教学生担当委員会事務局 TEL 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780

※全日程の参加を原則とします。やむを得ず遅刻、早退、中抜けする必要がある場合は、必ず前もってご相談ください。

### 「まなびば」開催会場一覧 《11月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者
千葉	11月7日13時～8日16時	教務支庁	峯崎 淳一
佐賀	11月14日14時～15日14時	教務支庁	河野 幸俊
北海道 ※函館ブロック	11月22日14時～23日14時	北稜分教会	甲谷 勢一朗

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

### 立教178年 冬期教区学生リーダーの集い開催要項

- 【趣 旨】 道につながる学生リーダーがおちばに帰り集い、改めて年祭の意義を心に治めおたすけを実践していく。そして、「教祖130年祭 学生おちばがえり大会」に向けて、趣旨・テーマを改めて心に治め、全国の仲間と心一つに揃え、確実な一歩を踏み出す。
- 【日 程】 12月23日（水）14時集合、12月25日（金）16時解散
- 【対 象】 各教区学生会・直属教会の委員長及びリーダー層（高校・大学生層）  
※学生会が結成されていない直属教会からも是非ご参加ください。  
※各教区学生会・直属教会4名まで
- 【参加費】 1人 1,500円（当日にお持ちください）
- 【宿 舎】 本部第12母屋
- 【内 容】 『教祖130年祭 学生おちばがえり大会に向けての談じ合い』、  
『第53期天理教学生会委員長の所信表明演説』
- 【締 切】 12月5日（土）締切
- 【問い合わせ】 天理教学生担当委員会 事務局 TEL 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780

※全日程の参加を原則とします。やむを得ず遅刻、早退、中抜けする必要がある場合は、必ず前もってご相談ください。

### 立教178年 学生担当者大会のご案内

来る11月25日、学生担当者の総会ともいふべき「学生担当者大会」を下記の通り開催いたします。教祖130年祭、「教祖130年祭 学生おちばがえり大会」を迎えるにあたり、表統領中田善亮先生よりご講話をいただきます。また、「教祖130年祭 学生おちばがえり大会」の動員についての相談の場を設けたいと存じます。

- 【日 時】 立教178年11月25日(水)13:00開始（受付12:15～）
- 【会 場】 本部第二食堂
- 【対 象】 教区・直属担当委員長、委員、支部担当者、学生層育成に携わる者
- 【内 容】 ・表統領中田善亮先生ご講話  
・委員長挨拶  
・パネルディスカッション

11月例会に代えて、当日12:40より諸連絡を行います。教区・直属担当委員長は事前にお集まりください。